



●オンライン交流会、開催しました！

11月の最終日、初の試みである「オンライン交流会」を開催しました。

幹事のほかに5名の会員の方々がご参加くださった上、思いのほか盛り上がり、長めに予約した21:30ぎりぎりまで会話が尽きませんでした。

あらためてお礼申し上げます。

主査としては、東京に限らない日本規模の動向を知ることができた上、各自の近況報告に思わぬ共通のキーワードが登場し、ギャラリートークや合同ワークショップへの展開可能性がいくつも確信され、大変充実した時間を過ごさせていただきました。

互いを知れば、新しい機会が生まれることを実感しましたので、今後も定期的に開催いたします。

加えまして、6月の日本色彩学会全国大会（大阪）でオフ会を開きたいとも思っております。

引き続き、交流・発信の環境を提案してまいりますので、みなさま、どうぞ気軽に楽しくご参加ください。

次は、3月開催のギャラリートークでお目にかかりましょう！

（主査：山根千明）

●北畠先生のデータを保存したい

先般急逝された色彩教材研究会の生みの親であり、特別幹顧問であった北畠耀先生が、長い年月にわたって色彩学や色彩教材などの形で発表された文献を集めて、電子データの形に変換し、日本色彩学会のホームページの中にある「色彩データライブラリ」に収めて、学会員が、末長く、有料で使えるようにすると良いと考えます。

一つは、北畠先生のパソコンの中に残されているデータを、御遺族の方をお願いして、コピーの形で入手することが急務です。

会長か主査の名前のお願い状を差し上げ、データが散失する前にコピーをさせていただくことが、必要です。

二つ目は、研究会員、あるいは学会員が印刷物の形で過去に入手され保管しているデータを借り出して、コピーし、データとします。私の手元にも厚さ4cmくらいの印刷データがありますので提供します。

それらの中から選んだ印刷データを「色彩データライブラリ」に収容して、学会員が有料で利用することができるようになります。データを選び系統化するスタッフチームを作ることも必要になるでしょう。

以上を幹事会でご検討ください。（永田泰弘）

●大辞泉ひろい読み 101-さ

酸化染料：さんかせんりょう。繊維上で、酸化によって発色する染料。アニリンを酸化して作るアニリンブラックなどがある。

酸化第二鉄：さんかだいにてつ。Fe₂O₃。天然には酸化第二鉄として産出。製法によって赤色・紫色・黒色などとなる。赤色粉末はベンガラともよばれ、さび止めや塗料、研磨剤に使用。

四酸化三鉄：しさんかさんてつ。Fe₃O₄。天然には磁鉄鉱として産出。黒色、強磁性の物質。また黒サビの主成分。電極・顔料などに使用。

酸化第二銅：さんかだいにどう。天然には黒銅鉱として産出。窯業の緑青色顔料、塗料、酸化剤などに用いる。

三原色：割合を変えて混合すれば、色がすべての色を表すことができる、基本となる三つの色。ふつう赤・緑青・青の光の三色をいうが、絵の具や印刷インキなどでは青緑・赤紫・黄。

三彩：低火度溶融の色釉を施した陶器。唐三彩、奈良三彩。

三色：さんしき。三種の色。さんしょく。三種類のもの。みいろ。

*大辞泉：小学館発行国語辞典（永田泰弘）